

第7回たばこの健康影響評価専門委員会

タバコ誤飲事故について

十文字学園女子大学 健康管理センター
齋藤麗子

タバコ 誤飲によるニコチン中毒

症状出現率は 14%程度とされており、最も多い症状は吐き気・嘔吐である。嘔吐は誤飲後 10～60 分以内にみられ、他の症状もだいたい 2～4 時間以内に出現する。

ニコチンの急性致死量は幼児で10～20g(紙巻タバコ1/2～1本)とされているが、タバコからのニコチンの溶出、および胃液中でのニコチンの吸収には時間がかかり、吸収されればニコチン自身の催吐作用により吐いてしまうため、重篤になることは稀である

ただし、タバコの浸出液はニコチンがすでに溶出しているため、速やかに吸収されて中毒症状が出やすいので注意する。

国民生活センターホームページより

平成25年度 家庭用品等による健康被害のべ報告件数
(上位10品目及び総数)

皮膚障害		小児の燃焼事故		吸入事故	
装飾品	28(28.9%)	医薬品・ 医薬部外品	96(18.1%)	殺虫剤	265(24.2%)
ゴム・ ビニール手袋	12(11.1%)	タバコ	94(17.7%)	洗剤類 (住宅 用・家具用)	188(17.2%)
めがね	7(6.5%)	プラスチック 製品	60(11.3%)	漂白剤	116(10.6%)
ベルト スポーツ用品	各5(4.6%)	玩具	51(9.8%)	芳香・消臭・脱 臭剤	74(6.8%)
下着 時計 ビューラー	各4(3.7%)	金属製品	50(9.4%)	除菌剤	48(4.4%)
		寝具	25(4.7%)	防水スプレー	45(4.1%)
		電池	20(3.8%)	洗剤 (洗濯用・ 台所用)	41(3.7%)
		食品類	19(3.8%)	消火剤	34(3.1%)
履き物 (革靴・ 運動靴を除く) 洗剤	各3(2.8%)	化粧品	17(3.2%)	忌避剤	28(2.6%)
		洗剤類	16(3.0%)	園芸用殺虫・殺 菌剤	25(2.3%)
総数	100 ^(注) (100%)	総数	531 (100%)	総数	1,085 (100%)

平成25年度家庭用品等に係る健康被害病院
モニター報告

電子タバコの急性毒性： 急性ニコチン中毒

米国では中毒センターへの電話相談が月に215件も！

我が国でも時間の問題であったが

電子タバコ用リキッドによる急性ニコチン中毒例 (2014)

39歳女性、自殺企図で電子タバコ用リキッド30ml服用し救急
受診、ニコチン1080mg相当、迅速胃洗浄後ICUにて救命
横浜市立大学高度救命救急センター 古波蔵ら